

NPO法人キャンサーリボンズ

鳥取県立図書館とNPOと企業の連携事例
【がん治療と仕事の両立支援セミナー】
開催報告

図書館で、「がんによる離職」を食い止める

国民の2人に1人が罹患するといわれる‘がん’
罹患者の約3割が20～64歳の働く世代です
(国立がん研究センターがん対策情報センター 2012年)

がん治療と仕事の
両立支援セミナー



がん治療で休職中の部下が復帰するかどう接しているのかわからない。



もし自分がかんになったら、店は、従業員はどうなるのだろうか？



がんと診断された。職場には報告した方がいいのか？



がん治療と仕事のこと、どこで、誰に相談できるの？



生活のために仕事はやめたくないけど不安。



休職中だが、治療前と同じように働けるか心配。

■セミナー開催の背景

国の「第2期がん対策推進基本計画」で、初めて働く世代のがん対策が明文化されたことを契機に、仕事と治療の両立が社会問題として広く認知され始めています。

がん医療の進歩により、治療しながら仕事を続けることは十分可能になりましたが、職場への遠慮や両立の手立てを知らないために離職し、生活設計の変更を余儀なくされる場合も少なくありません。企業にとっても、貴重な人材を失うことになります。

がんと分かった後、誰かに相談することで自分の気持ちや状況を整理することができますが、病気を周囲に打ち明けられず、治療と仕事の悩みを1人で抱えている患者さんも少なくありません。そこで、誰でも利用できる身近な図書館で、がん治療と仕事の両立に関する理解促進を目的に、セミナー開催しました。

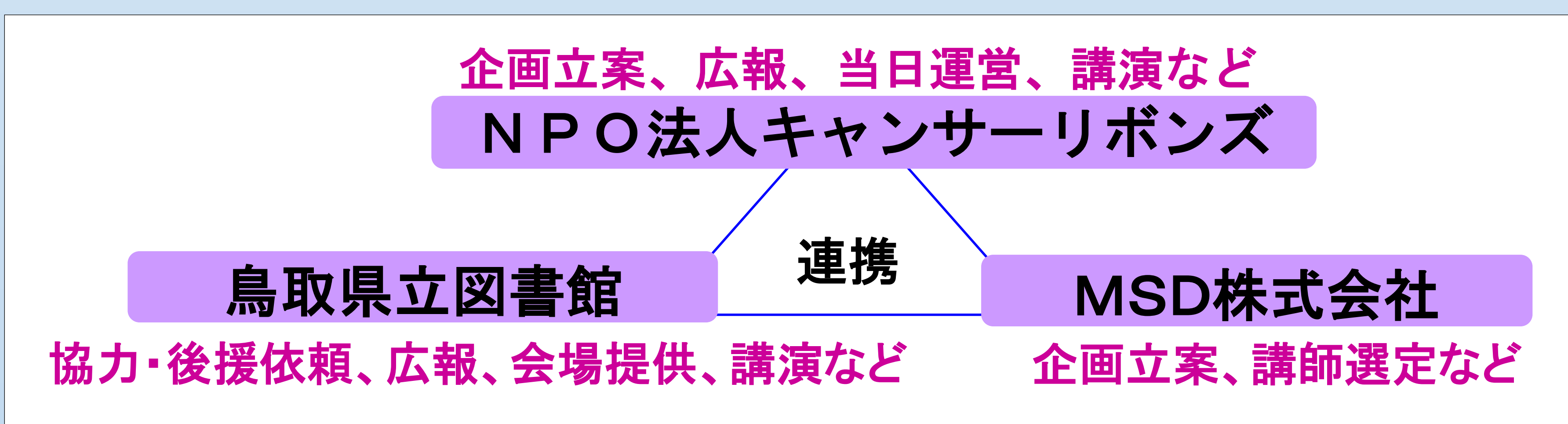
がん患者さんを支援するNPO、鳥取県立図書館、製薬会社の連携による“がん治療と仕事の両立サポート”事例をご紹介します。

■セミナー概要【参加者 84名】

名称	がんと診断されたら、暮らしは？仕事は？雇用は？「働き続けるためにできること」
日時	2016年9月10日(土) 13:30～16:15
会場	鳥取県立図書館 2階大研修室
主催	NPO法人キャンサーリボンズ、鳥取県立図書館、MSD株式会社
後援	鳥取県、国立大学法人鳥取大学、鳥取商工会議所、倉吉商工会議所、米子商工会議所、境港商工会議所、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、一般社団法人鳥取県中小企業診断士協会、鳥取県中小企業家同好会、公益財団法人鳥取県産業振興機構、日本政策金融公庫鳥取支店、鳥取県医師会、鳥取県看護協会、鳥取県薬剤師会

鳥取県立図書館のご尽力で、県や地元経済団体等との強力な協力関係が築けました

■役割分担



セミナー当日、共催三者それぞれがメッセージを発信しました

■セミナー内容

専門医や産業医、がん経験者、行政、図書館司書など様々な立場から情報を発信しました

医師による講演

「がん治療の今:がん治療しながら働くことはできるのか？」
鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 大山 賢治さん

がん罹患後の治療や副作用、がんと診断された後の気持ちや緩和ケアを中心とした、がん治療の両立について講演しました

地元医師ならではの地域性も考慮した情報

医療情報提供のための県のネットワークも紹介

図書館司書による講演

「『医療・健康情報サービス』の取り組み」
鳥取県立図書館司書 佐伯 真由佳さん

鳥取県立図書館の、がんに関する蔵書(病気、治療、薬、医学用語、闘病記など)と医療・健康情報サービス、就労支援情報について紹介しました

各講師への質問タイムでは、両立に関する様々な質問を受け、司会・NPO法人キャンサーリボンズ副理事長 岡山慶子が参加者と講師をつなぎました

がん経験者による講演

体験談「がんのその後の人生設計」
中川企画建設株式会社、厚生労働省委託事業がん対策推進企業アクションアドバイザーボードメンバー 阿南 里恵さん

がんと診断された後の離職や就職について、ご自身の反省点を交えながら体験談をお話しました

貴重な体験談に大反響

県による講演

「鳥取県における就労支援」について
鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課 保健師 岡田 桂子さん

鳥取県のがんをとりまく現状と、がん相談と労働相談を同時に提供するワンストップサポートの取り組みについて説明しました

県とも、広報段階から連携

産業医による講演

「仕事と治療の両立のための、マイプランづくり」
NPO法人キャンサーリボンズ理事、
荒木労働衛生コンサルタント事務所 所長 荒木 葉子さん

がんと診断されてから復職までの各ステージにおける治療と仕事の両立のためのポイントの他、就労に関するがん情報や事業場における両立支援の現状について講演しました

NPOツール「がんと働く」リワークノートを参加者全員に配布
職場復帰のポイントなどを紹介

NPO法人キャンサーリボンズは、がんの患者さんの「治療と生活」をつなぐ、をテーマに、患者さんの生活を支援しています。詳細は、キャンサーリボンズHP(<http://www.ribbonz.jp/>)からご覧ください。「活動実績」コーナーには、本セミナーの活動報告書を掲載しています。

